

障害者スポーツ基礎知識 (障害者スポーツの支援を始める前に)

●障害者スポーツとは？

障害者のための特別なスポーツがあるわけではなく、競技規則や用具を一部変更し、改良することで安全にかつ公平に行うことができるよう、障害の状況に合わせて行っているスポーツを広く「障害者スポーツ」と捉えています。

●どんな障害があるだろう？



●主な大会について

国際大会ではパラリンピックやデフリンピック、グローバルゲーム、スペシャルオリンピックス世界大会等があります。国内のスポーツ大会としては全国障害者スポーツ大会、ジャパンパラ競技大会の他、競技団体が主催する大会等様々な大会があります。また、できるだけ公平な条件で競技が行えるように、大会により分け方の基準は異なりますが、障害の状態に応じて区分ごとに競技が行われます。



全国障害者スポーツ大会



全日本パラ・パワーリフティング選手権大会

●スポーツ種目や用具の紹介

サッカーという一つの競技でも、ルールや用具の工夫で異なる障害があってもプレーできます。



●ブラインドサッカー (視覚障害)



●アンプティサッカー (肢体不自由)



●電動車いすサッカー (肢体不自由)

[その他、デフサッカー (聴覚障害)、デフフットサル (聴覚障害)、ソーシャルフットボール (精神障害)、脳性まひ者7人制サッカー (肢体不自由)、知的障害者サッカー (知的障害) など]

●障害者スポーツを支える人たち

障害のある方が、身近な地域でスポーツに親しむ環境を広げていくには、支える人たちの存在が欠かせません。特に重要な役割を担っているのが『障がい者スポーツ指導員』です。技術的な指導だけでなく、障害に関する専門的な知識を有し、障害のある方が安全にスポーツを楽しみ、心身の機能やスポーツ技術を向上していくためのサポート等を行います。また、資格を持っていなくてもボランティアとして大会やイベントを支えてくれる方々の存在もまた、障害のある方々のスポーツ振興にとってなくてはならない存在です。

企業 × 障害者スポーツ

つながる、広がる、スポーツの力

障害者スポーツ コンシェルジュとは？

障害者スポーツの支援に関心のある企業・団体等の相談に乗り、必要な情報の提供や支援を必要としている競技団体等との連携に向けた調整を行っています。障害者スポーツの支援についてご検討の場合は、障害者スポーツコンシェルジュにご連絡ください。

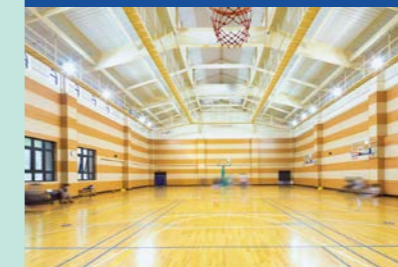
障害者スポーツ大会の 観戦



競技団体・大会運営の 支援



自社のスポーツ施設を 練習場所として提供



障害者スポーツを知る 体験会、講習会



コンシェルジュ専用電話

03-6265-6123

[受付時間 | 平日10時～17時 (12時～13時を除く)]



公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
障害者スポーツコンシェルジュ担当

(Tokyo Metropolitan Sports Association for the Disabled)

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ12階

HP:<http://tsad-portal.com/> FAX:03-5206-5587

※メールによるお問合せは当協会HPお問合せフォームよりお送りください。

障害者スポーツコンシェルジュ事業実績例

障害者スポーツコンシェルジュ事業に寄せられたご相談の中から、他団体とのマッチングにつながった事例についてご紹介します。
(平成30年1月現在)

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 × 東京ボッチャ協会 (スポーツクラブメガロス)

休館日の活用でパラアスリートを支援! 施設貸出

2016年、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社と東京ボッチャ協会は、「パラアスリート育成における施設利用協定」を締結し、スポーツクラブメガロスの休館日に、東京アスリート認定選手、日本ボッチャ協会強化指定及び育成指定選手等を対象に、メガロス田端店を無償で練習場所として貸出すことになりました。

これまでパラアスリートの練習施設は十分確保されておらず、車いす等を使用したまま利用できる利便性の高い施設環境は少ないという課題があり、東京ボッチャ協会も練習場所の確保に苦労していました。現在、東京ボッチャ協会の選手は、施設を利用して技術の向上を目指して練習に励んでいます。

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社としては、従来、不十分であった練習環境を整備し、練習機会を創出することによって、選手の更なる技術の向上と競技の普及促進に貢献するとともに、今後もパラアスリートの総合的な支援を視野に入れ、他の競技についても同様に、支援・受け入れ態勢の準備などの検討を進めていく予定です。



上：メガロス田端店における練習風景
下：協定締結時の記者会見の様子、左から東京ボッチャ協会高山会長、野村不動産L&S大橋社長

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 所在地/中野区 事業内容/スポーツ施設の企画経営及びコンサルタント等 総従業員数/約550名

プルデンシャル生命保険株式会社 × 東京都社会福祉協議会「福祉マラソン大会」

マラソン大会を通じてボランティア交流 ボランティア

2017年11月に荒川河川敷で行われた東京都社会福祉協議会主催の「心をつなげる福祉マラソン大会」にプルデンシャル生命保険株式会社 首都圏第四支社、首都圏第十支社の社員42名がボランティアとして運営に協力しました。

「心をつなげる福祉マラソン大会」は知的障害のある方やそのご家族等約300名が参加するマラソン大会で、第30回という節目を迎えるにあたり、今年度から知的障害のある方と一般社会との交流を深めることを目的として、企業ボランティアを募集しました。

プルデンシャル生命保険株式会社は支社ごとに年に一度ボランティアに参加する取り組みを行っており、当日はコース整理や誘導等で運営に協力したほか、事前に障害者施設を見学するなど、障害のある方への理解を深める機会となりました。



福祉マラソン大会当日の様子

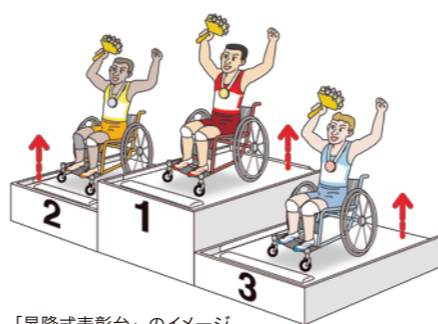
プルデンシャル生命保険株式会社 所在地/千代田区 事業内容/生命保険業及びそれに付随する業務 総従業員数/約5500名

株式会社メイキコウ × 障害者スポーツ競技団体 検討中

昇降式表彰台で大会に花を 物品提供

障害者スポーツ競技の表彰式に花を添えるために、車いすを使用するアスリートが順位毎の表彰台に乗り、シザーリフトが上昇することで表彰台が順位毎の高さになる「昇降式表彰台」を競技団体等に無償で提供する取組を行っています。

現在、各競技団体と開催予定の大会等で使用できるよう調整しており、昇降機メーカーの強みを活かして障害者スポーツ大会を盛り上げます。



「昇降式表彰台」のイメージ

株式会社メイキコウ 所在地/中央区(東京支店) 業種/昇降機メーカー 総従業員数/230名

企業等による障害者スポーツ支援事例

障害者スポーツ振興・普及に向けて、競技団体への支援を通して様々な取組を実施している企業・大学の事例をご紹介します。

学校法人立教学院 × 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟

校内施設がパラリンピアン練習拠点に 施設貸出、理解啓発等

学校法人立教学院は、2014年に一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟と施設利用に関する覚書を締結し、池袋キャンパスの総合体育館「ボール・ラッシュ・アスレティックセンター」の室内温水プールを練習場所として提供してきました。2016年に開催されたリオデジャネイロ・パラリンピック水泳競技では、当施設で練習を行った選手の中から複数のメダリストが輩出されました。

2017年には一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟及び一般社団法人日本知的障害者水泳連盟と「連携協力に関する包括協定」を締結し、施設の貸し出しだけでなく、学生を対象とした練習見学会を開催する等、様々な連携を進めています。なお、当施設は2017年にパラリンピック水泳競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(夏季競技)にも指定されています。

この他にも、障害者スポーツ体験会の開催、「立教オリパラ応援団」を募集し学生にイベントやボランティア等の情報を提供するなど、障害者スポーツの理解啓発に関する様々な取り組みを行っています。

学校法人立教学院 所在地/豊島区 事業内容/教育 総職員数/約1,000名



リオデジャネイロ・パラリンピックでメダルを獲得した選手が大学を訪問。前列左より峰村史世監督、津川拓也選手、中島啓智選手、木村敬一選手、山田拓郎選手

株式会社オフィス24 × 一般社団法人日本パラバレーボール協会

月に一回定期的に体験会の場を提供 協賛、体験会開催等

一般社団法人日本パラバレーボール協会のスポンサーとして、パラリンピック競技であるシッティングバレーボール日本代表選手団に対してサポートを積極的に行っており、年2回開催される同協会主催の全国大会に協賛しています。

また、月に一度定期的に、シッティングバレーボール日本代表監督・選手等の協力を得ながら体験教室を開催することによって、競技の普及啓発活動に取り組んでいます。体験会は誰でも参加でき、ルール説明からパスやレシーブ等の基礎練習、ゲーム形式まで、パラリンピアンから直接指導を受けることができる貴重な機会を提供しています。

その他にも、社内にシッティングバレーボールのオリジナルチームを持ち、全国大会に出場し競技者との交流を図る等、シッティングバレーボールの競技普及に対する幅広い支援活動を行っています。

株式会社オフィス24 所在地/新宿区 業種/ネットワーク事業等 総従業員数/520名



シッティングバレーボール競技風景

PwC Japan × 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟

子どもたちへの理解啓発 協賛、アスリート雇用、体験会開催等

PwC Japan グループは一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟のオフィシャルサポーターです。また、車いすバスケットボールと電動車いすサッカーの選手を社員として雇用することにより、選手を競技活動とキャリア形成の両面から支援しています。

障害者スポーツの普及啓発のために、都内および関西の小中学校10校で選手による体験教室を毎年開催しています。合わせて、職員・家族を対象にした体験会や車いすバスケットボールの大会ボランティアを通じて法人内のダイバーシティ&インクルージョン推進に努めています。



社員とその家族・友人を対象に実施した車いすバスケットボール体験会の様子

PwCあらた有限責任監査法人(PwC Japanグループ) 所在地/千代田区 事業内容/会計監査、アシュアランス、コンサルティング 総従業員数/2,858名(2017年6月30日現在)